

峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862



新しい我が家 ケアホーム建設中

知的障害者
更生施設

拓光園

拓光園では、知的障がいを持ちながらも地域で生活する為、多くの取り組みを行ってきました。社会生活に適應する技術を身に付けたり、職場での経験を積んだりした結果、平成16年からは8名の利用者の方々が拓光園を巣立ち、地域で生活しています。

岩木地区高屋にある住宅では、4名の女性がネギ農家の手伝いをしながら地域生活をしています。

弘前市城西にある住宅でも女性4名が園に通所利用で通ったり、小規模作業所に通勤している方もいます。

どちらもケアホームとして認可を受け、朝夕はそれぞれ世話人が食事の世話や体調の管理などを中心に支援しています。

ところが2年以上も住み慣れた城西住宅に老朽化が目立ってきました。元々城西住宅は借家であり、今から30年以上前に建てられた家で、おとこの豪雪の影響もあり、その都度処置をしてもらいましたが、設備も古く、園では利用者の方々の為に新しいケアホームの建設に踏み切ったのです。

新しいケアホームは拓光園のすぐ近く、ご存知の方もいらっしゃると思います。が、旧「やよい歯科」の跡地に、元の建物を利用しながら建設されています。定員

もこれまでの4名から2名増え、6名となる予定、暮らし慣れた環境の中で、個人の生活スタイルを尊重しながら、皆で憩い合える我が家を目指しています。

6月21日には理事長、園長等が参列し上棟式が執り行われました。建設の安全を祈念し、利用者の方々に喜んでもらえる家作りを誓い合っていました。

これまでもそれぞれの住宅では近隣の方々から暖かいご理解を頂き、利用者の方々は快適な地域生活をおくる事ができていました。ケアホームが弥生地区に移った後は、弥生地区の住民の一員として共に生活して行きたいと考えています。そしてこの地域生活の輪がより大きなものになることを今後も目指し続けたいと考えています。

ケアホームは今年秋頃に完成の予定です。





**自閉症児童就労訓練
作業の集中力アップ
を目指して！**
知的障害者
通勤寮
拓心館

夏休み冬休みを利用して行っている自閉症児就労訓練は18年度夏期から始まり今回で3回目となりました。この夏は平成19年7月24日から28日までの5日間で行われました。参加児は、養護学校高等部3年生2人、2年生2人、中学部3年生1人の5人、延べ19人、支援スタッフは、自閉症の支援研修を終了した職員1名と学生ボランティア5人、延べ25人でした。

訓練は、過去2回の経験を踏まえ、より作業に集中して取り組むことが出来るように、次のように作業環境全体の構造化を図りました。

- ①場所の構造化→ワンフロアで行うのではなく仕事の場所と休憩の場所をしっかりと区別する。
 - ②スケジュールの構造化→日程を時系列に表示して次に何を行うか分かりやすくする。
 - ③作業量の構造化→作業量が時間で分かる人、枚数で分かる人など個人毎に分かりやすく作業の終わりを示す。
- このような作業環境の構造化により、参加児が走り回ることも少な



く、作業への集中力が格段に向上しました。

このような成果が見られたことは、構造化の効果もさることながら、支援ボランティアして下さった弘前学院大学の学生さんによるところが大きいと感謝しています。学生の皆さんが、自閉症の特性をよく理解して対応していたこと、積極的に構造化のアイデアを出して作業を進めながら修正していたことが良かったのだと思います。

今回の訓練では参加児の成長が目立ち、最終日に工賃を受け取る顔にも、「仕事をやった」というちよっぴりの自信と、少年から青年に変わる表情がありました。暑い中の5日間よく頑張りました。

**旭光園の強い味方
八幡崎ファイヤーマン**
社会就労
センター
旭光園



火災はとても身近で怖い災害の一つです。旭光園では日頃から災害や事故等に備え、定期的に『避難訓練』を実施しています。災害や事故はいつ起こるかわかりません。また、夜間に起こるようなことがあれば、その被害・パニックは想像が付きません。現に旭光園では、授産作業で大型機械が稼働し、厨房では火気を扱っています。また、利用者や職員の中にはタバコの喫煙者もいます。

しかし、開設から28年目を迎えた現在まで、幸い火災は発生していません。日頃から、利用されている方、職員はもちろん、火気の扱いには十分注意を払い、「旭光園からは火の手をあげないように



しよう。」と防火について誓い合っています。

旭光園は、体に障がいを持った方が利用しており、車椅子を利用していても多くいます。その為、早期に対策を取れる体制作りとして『緊急連絡通報システム』や『職員間の連絡網』を整理し、『万が一』の事態を想定した『避難訓練』と『通報訓練』を実施しています。今回は6月27日に、地域の八幡崎消防団の方と『合同訓練』を実施しました。もしもの火災・災害時は、消防署への連絡とともに、地域の消防団への通報も行い、いち早く旭光園へ駆けつけ、消火活動・救出活動を行ってくれます。旭光園の傍には、いつもご理解のある地域の方々と、頼もしい『八幡崎消防団』の方々に見守られています。これからもどうぞよろしく願います。

じゃがいも 交流会

特別養護
老人ホーム
サンアップ
ルホーム

「高齢者グループホームアップル」と「認知症対応型通所介護じよい」は、高長根スキー場から岩木山環状線へ抜ける道路の右手に位置します。向かって右が「グループホームアップル」左が「デイサービスセンターじよい」です。グループホームは住まい、デイサービスは通いになります。

7月20日(金)グループホームアップルのお年寄りが、丹精こめてお世話している「おらほの畑」のじゃがいもが、そろそろ収穫時期だという事で、「グループホームアップル」と「デイサービスセンターじよい」のお年寄りが、そろってじゃがいも掘りを行いました。畑仕事に慣れていない職員は、腰が入っていないとお年寄りに叱られながら、ぎこちなく掘っているのに対し、さすが昔の『わあ



げもの(若い者)はあつという間に掘りおこします。少し、小ぶりのじゃがいもが、たくさん収穫できました。

収穫したじゃがいもは、予定では、畑の前で茹でて、外でいただくはずでしたが、あいにく小雨が降り出したことから、急遽、グループホーム内に、場所を変更することになりました。デイサービスとグループホームのお年寄りが和気あいあいと、じゃがいもを洗います。茹で上がったじゃがいもは、塩とバターで、いただきます。ちよつとした収穫祭です。



今回は、じゃがいもでしたが、他に、インゲンやトマト、ナス、きゅうり、かぼちゃ、スイカ、梨、桃、プルーン。これからは、毎日が収穫日になります。「また、手伝っての。」とグループホームのお年寄りが言えば「いつでも手伝いに来るよ。」とデイサービスのお年寄りが答えました。

弘前市障害者 生活支援センター の活動

身体障害者
療護施設

山郷館

弘前市障害者生活支援センター(弘前市委託)は、地域の障がい者に対して、福祉サービスや制度の紹介、申請のお手伝い、施設紹介など、生活全般に関わる相談支援を主に行っています。

他にも、ピアカウンセリングやイベント、障がいのある方に役立つ地域情報を、毎月のチラシや広報誌ぶらつとでお届けしています。「ピアカウンセリング」とは、同じような障がいのある方が、同じ立場から悩みや相談に応じてくれるもので、毎月行われています。意外と知られていないのが、イベント情報です。仲間作りの場として、社会参加のきっかけにと、毎月いろいろな活動が行われています。



ちなみに今年4月～7月までの開催内容を取り上げてみると、
◆書道講座、パソコン教室、料理講座
◆健康講座「太極拳」、「ニュースポーツ(室内版カーリング、ストラックアウト)」
◆フラワー講座「フラワーアレンジメント」、「寄せ植え」等があります。

初めての方でも、参加したいイベントがある時は、気軽にお申し込みできます。

その他、障がいのあたる・なしに関わらず参加できるイベントとして、ピアカウンセリングとの「ランチで交流会」、「ミニコンサート」、「手話教室」などがあり、交流の場になっています。今後も、地域のセンターとして皆さんの希望を聞きながら活動していきたいと思っております。詳しくはセンターまでお問い合わせ下さい。



弘前市障害者生活支援センター
電話 0172-312400



いわせて ネット

山郷館

くろいっしだより

住み慣れた山郷館から黒石へ移り住んで、まもなく一年になるうとしています。黒石へ引っ越してきてから、新たに6名の利用者を迎えて、現在29名の利用者が3つのユニットに分かれて生活をしています。

居室も四人部屋で、なにかとにぎやかに暮らしている山郷館から、全室個室で、十人程度の小規模の生活に慣れるまでは若干元気がないように感じられました。しかし、山郷館くろいし分離建設の目的の一つであった身近な地域での生活を実現することで家族との交流も活発になり、利用者の方々の生活も活気あるものになってきました。

今回は、黒石へ越してきてからの暮らしぶりについてご紹介いたします。

春を迎えてから、ユニット単位での活動も本格的となり、プランターでの野菜作りが始まりました。

生育を目で見て楽しみ、収穫した野菜は漬物や野菜炒めにしてはいますが、自分たちで育てた野菜の味は絶品です。食事の場面では、自分たちでメニューを決めて、厨房職員がユニットへ出向いて目の前で調理する「お好み昼食会」も行事と

お好み昼食会の一コマ



は、和みのひとときとなっている行事となっております。街中に近いという環境の中では、近隣地域の方々がボランティアとして協力くださることで、散歩や買物地域の行事参加などの活動も盛んになってきました。

初めて迎えたこの夏は、黒石よされ見学やねぶた見学、さらに地域のネプタ運行へのお誘いをいただき、張り切っているとところです。そして、9月1日には、山郷館くろいしをもっと知ってもらいたいという思いと、日ごろお世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを含めて「秋の里お祭り広場」というイベントを開催することにしました。初秋の一日を皆さんと一緒に楽しむために、利用者が中心となって、準備を進めていますので、お誘いあわせの上、是非お越しください。

して行われています。野菜を切る音と、鍋から上る良い香りが部屋に漂って家庭的な雰囲気な霧気は、和みのひとときとなっている行事となっております。街中に近いという環境の中では、近隣地域の方々がボランティアとして協力くださることで、散歩や買物地域の行事参加などの活動も盛んになってきました。初めて迎えたこの夏は、黒石よされ見学やねぶた見学、さらに地域のネプタ運行へのお誘いをいただき、張り切っているとところです。

(村山記)

「就労サポートひろさき」見学の案内

法人全体では、地域生活を支援するためのケアホーム等の取り組みが進んでいます。弘前市熊嶋の「就労サポートひろさき」(拓心館グループ)も障がい者の就労支援を行うための中核施設として、積極的にその機能を発揮しています。

同所では、就労に係る相談支援、職場開拓、職業訓練等さまざまな支援活動と各種作業を実施しています。作業種では、六月からスタートした豆腐作りは上々の評判となっております。

後援会では、今年の事業として、昨年の山郷館くろいしの見学に続き、この「就労サポートひろさき」を見学し、障がい者支援の状況と拓心館グループの新たな取り組みについて理解を深めたいと考えております。

予定では、「就労サポートひろさき」を見学し、嶽方面へ紅葉狩りへと足を伸ばす日程で検討しております。詳しいご案内は、九月頃になります。会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

住宅介護支援事業

山郷館居宅介護支援センター
TEL 97-294 4 1
サンアップル居宅介護支援センター
TEL 97-213 3 1

特別養護老人ホーム

サンアップルホーム TEL 97-211 1 1
サンアップル短期入所生活介護センター
サンアップルヘルパーセンター
サンアップルヘルパーセンター
サンアップルヘルパーセンター
認知症グループホームアップル
TEL 97-277 8
認知症グループホームアップル
TEL 97-201 3
サポートセンターわかば
弘前市大字若葉2丁目15
TEL 37-116 5
認知症グループホームわかば
デイサービスセンターわかば
サンアップル在宅介護支援センター
(弘前市委託事業)
TEL 97-213 3 1

障害者支援

(主に知的) 拓
拓心館 TEL 82-452 20
グループホームケアホーム12ヶ所
生活自立訓練事業
就労サポートひろさき
生活介護・就労継続支援B型エイブル
TEL 96-233 3 1
通所利用事業
拓光園短期入所支援センター
拓光園障害児デイサービスセンター
拓光園障害児デイサービスセンター
共同生活介護事業所

(主に身体) 旭
山郷館 TEL 97-222 1 1
山郷館
身体障害者(児)短期入所事業
山郷館デイサービスセンター
山郷館デイサービスセンター
山郷館デイサービスセンター
山郷館地域活動支援センター
山郷館訪問介護センター
山郷館訪問介護センター
山郷館訪問介護センター
通所相互利用事業
旭光園身体障害者短期入所事業
身体障害者福祉ホーム さわら
TEL 57-515 5 5

総合支援

青森県指定
津軽障害者就業・生活支援センター
TEL 82-452 2 0
弘前市委託事業
弘前市障害者生活支援センター
TEL 31-240 0 0
弘前市北部地域包括支援センター
TEL 97-225 5 1